

HSBC ロシア オープン

運用報告書（全体版）

第19期（決算日 2026年3月16日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	HSBC ロシア マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にロシア連邦（「ロシア」）の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	HSBC ロシア オープン	HSBC ロシア マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	HSBC ロシア マザーファンド	主に、ロシア国内の企業、ロシア経済の発展と成長に関連する、ロシア以外の国の企業が発行する株式等（ADR、GDR等を含みます。）に投資します。
組入制限	HSBC ロシア オープン	株式への実質投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	HSBC ロシア マザーファンド	株式への投資には制限を設けません。また、外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年1回の決算時（毎年3月15日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC ロシア オープン」は、2026年3月16日に第19期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

〈お問い合わせ先（投信営業本部）〉

電話番号：03-3548-5690

（営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp



HSBC Asset Management

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIロシア10/40指数 (円ベース)			株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税金 分配	み 金 騰 落	中 率	(ベンチマーク)	騰 落 中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円	
15期(2022年3月15日)	1,051	0	△89.3	0	△100.0	20.3	—	466	
16期(2023年3月15日)	873	0	△16.9	—	—	8.8	—	387	
17期(2024年3月15日)	851	0	△2.5	—	—	—	—	377	
18期(2025年3月17日)	1,177	0	38.3	—	—	—	—	522	
19期(2026年3月16日)	1,156	0	△1.8	—	—	—	—	512	

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) ベンチマークは設定日を10,000として指数化しております。以下同じ。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率		
	円	%	%	%
(期首) 2025年3月17日	1,177	—	—	—
3月末	1,177	0.0	—	—
4月末	1,175	△0.2	—	—
5月末	1,173	△0.3	—	—
6月末	1,169	△0.7	—	—
7月末	1,170	△0.6	—	—
8月末	1,168	△0.8	—	—
9月末	1,165	△1.0	—	—
10月末	1,163	△1.2	—	—
11月末	1,161	△1.4	—	—
12月末	1,159	△1.5	—	—
2026年1月末	1,157	△1.7	—	—
2月末	1,155	△1.9	—	—
(期末) 2026年3月16日	1,156	△1.8	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

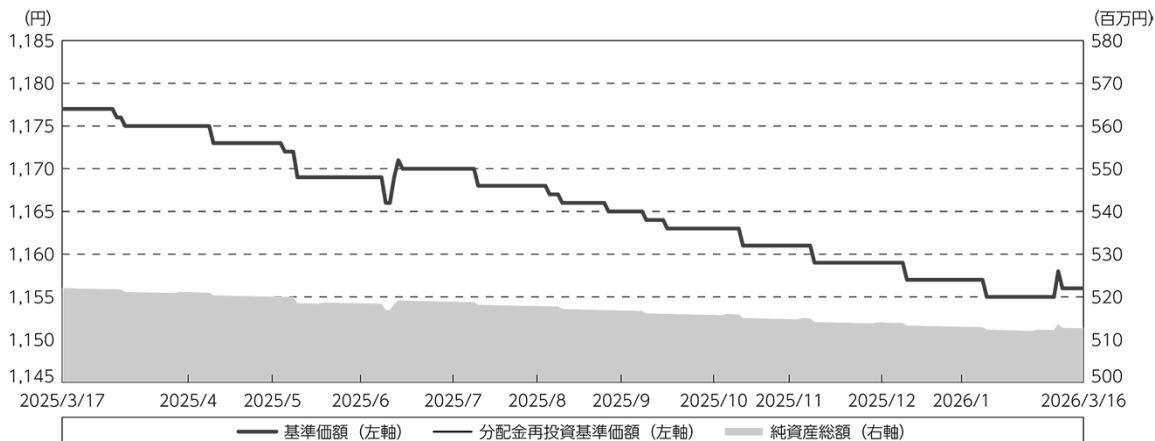
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

*2022年5月31日までのベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、『MSCIロシア10/40指数（円ベース）』です。MSCIロシア10/40指数とは、ロシアの証券取引所に上場する企業を対象とした一般的な指数であるMSCIロシア指数に対し、投資信託に合わせた調整（一銘柄の構成比率の上限を10%にする、かつ5%を超える銘柄グループの合計の上限を40%にする等）を加えた浮動株調整後時価総額加重平均を算出した指数をいいます。なお、当該指数は、MSCI社（MSCI Inc.）が開発、計算する指数で、同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。当ファンドのベンチマークとしては、同指数を委託会社が円換算した数値を使用していました。2022年3月9日から、MSCI社により大幅な評価額の調整が行われた結果、ほぼ0評価となり、また同年5月6日から公表が停止されました。当ファンドは、6月1日付けでベンチマーク削除の約款変更を行いました。

○当期の運用状況と今後の運用方針

基準価額等の推移について（第19期：2025年3月18日～2026年3月16日）



期 首：1,177円

期 末：1,156円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 1.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2025年3月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドは、2022年6月1日付けでベンチマーク削除の約款変更を行いました。過去のベンチマークは、MSC I ロシア10/40指数（円ベース）です。

基準価額の主な変動要因

現在、ロシア株式は、同国によるウクライナ侵攻の影響を受けて、総じて取引停止の状態にあります。このような環境下、当社では、下記「ロシア株式の時価評価方法の変更について」に記載の通り、基準価額の評価方法を変更しています。このため、当期における基準価額の下落要因はほぼ期中の費用と言えます（詳細は後掲の「1万口当たりの費用明細」の表をご覧ください）。

～ロシア株式の時価評価方法の変更について～

2022年2月28日以降、ロシア株式は軒並み取引停止の状態となりました。こうしたなか、当社では、協会規則に従い、可能な限り直近の日の組入銘柄の最終価格を評価額として基準価額の算出を行ってきました。しかし、評価額はほとんどが更新されず、基準価額は実勢を反映しているとは言い難い状況になりました。このような状況が一定期間経過した場合は、運用会社が合理的と判断する評価額を使用可能としている同規則に鑑み、当社では3月14日から、直近の基準価額算出において使用した評価値が、2月28日の基準価額算出において使用した評価値の10%未満となっているものについては、その評価値を使用し、それ以外のものについては、一律2月28日の基準価額算出において使用した評価値の10%として値付けを行いました。また、3月15日

より、継続して取引され実勢を反映していると思われる評価値がある一部の銘柄については、その評価値を採用し、それ以外は評価値を一律ゼロとしました。さらに7月5日から、米国、英国、国連、OFACなどによって制裁対象となったロシア企業の預託証券、ロシアの決定により外国証券取引所からの上場が廃止された預託証券につきまして、評価値をゼロとしました。また、ウクライナ侵攻前に売却した銘柄のうち未収入金となっていたものは11月2日に売買損として計上しました。加えて12月14日から、保有しているロシア企業の預託証券の中で新たに米国、英国、国連、OFACなどによって制裁対象となった銘柄の評価値をゼロとしました。（すべて外貨ベース。基準価額算出における為替レートに関しては通常通り算出日のレートを用いました。）

投資環境について

【株式市況】

当期のロシア株式市場は前期末比で4.1%下落しました。当株式市場の非居住者による取引については2022年2月下旬以降、依然困難な状況が継続しました。

【為替相場】

当期のロシアルーブルは円に対して前期末比で9.1%上昇しました。しかし、ロシアによるウクライナ侵攻の影響を受け、非居住者による為替取引に関しては引き続き著しく制限されていることから、ロシアルーブルの対円相場は実勢を反映しているとは言い難い状況となりました。

原則として、指数の騰落率は期首・期末の前営業日の数値を、為替レートの騰落率は期首・期末の数値をもとに算出しています。

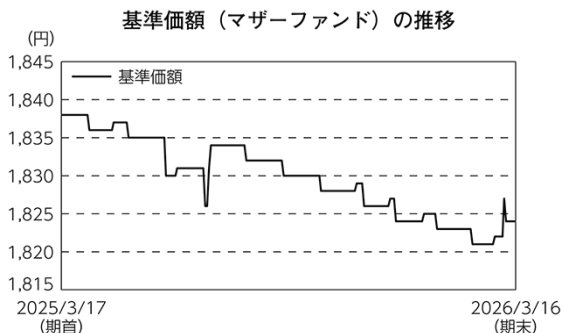
ポートフォリオについて

<HSBC ロシア オープン>

「HSBC ロシア マザーファンド」への投資を通じて、主にロシアの株式などに投資しました。

<HSBC ロシア マザーファンド>

当期末にて時価評価されている銘柄はありません。



ベンチマークとの差異について

当ファンドは、2022年6月1日付の約款変更でベンチマークを削除したため、期末時点でのベンチマークはありません。

分配金について

当期につきましては、基準価額の水準・市況動向などを勘案し、分配なしとさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第19期
	2025年3月18日～ 2026年3月16日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,117

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後のロシアの株式市場については、現段階では見通しを予測することが困難な状況です。当面ロシア市場は混乱状態が継続するものと予想されます。

<HSBC ロシア オープン>

引き続き「HSBC ロシア マザーファンド」への投資を行います。

<HSBC ロシア マザーファンド>

当面ロシア市場は混乱状態が継続するものと予想されるなか、当社は今後も動向を注視し、当ファンドへの影響についてモニタリングを続けてまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年3月18日～2026年3月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 10	% 0.878	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(－)	(－)	委託した資金の運用の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
(販 売 会 社)	(9)	(0.768)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.110)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	23	1.966	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(21)	(1.815)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.068)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(1)	(0.083)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	33	2.844	
期中の平均基準価額は、1,166円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

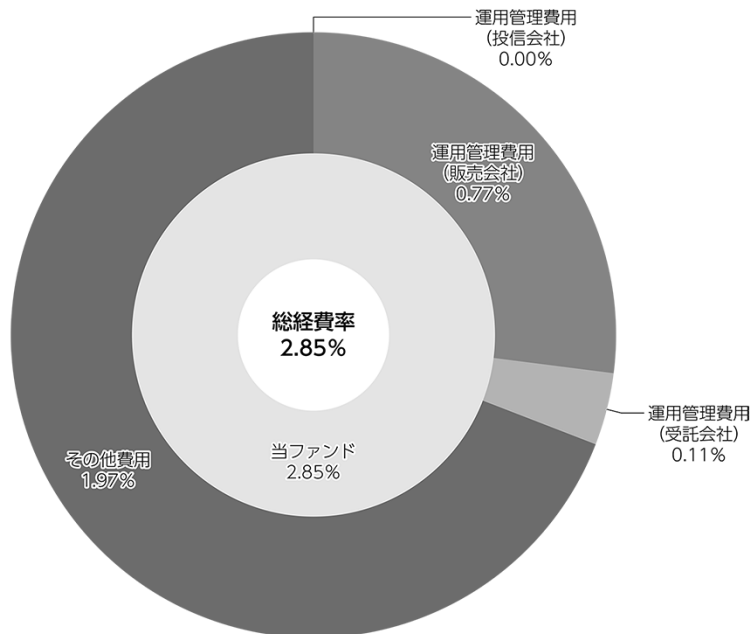
(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.85%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年3月18日～2026年3月16日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
HSBC ロシア マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 28,664	千円 5,256

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年3月18日～2026年3月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年3月16日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
HSBC ロシア マザーファンド	千口 2,853,828	千口 2,825,163	千円 515,309

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年3月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
HSBC ロシア マザーファンド	千円 515,309	% 100.0
投資信託財産総額	515,309	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) HSBC ロシア マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (0.943千円) の投資信託財産総額 (515,447千円) に対する比率は0.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=159.43円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年3月16日現在)

○損益の状況 (2025年3月18日~2026年3月16日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	515,309,830
HSBC ロシア マザーファンド(評価額)	515,309,830
(B) 負債	2,555,650
未払信託報酬	2,232,257
その他未払費用	323,393
(C) 純資産総額(A-B)	512,754,180
元本	4,435,000,064
次期繰越損益金	△3,922,245,884
(D) 受益権総口数	4,435,000,064口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,156円

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 3,967,308
売買益	1
売買損	△ 3,967,309
(B) 信託報酬等	△ 5,318,512
(C) 当期損益金(A+B)	△ 9,285,820
(D) 前期繰越損益金	△2,724,565,720
(E) 追加信託差損益金	△1,188,394,344
(配当等相当額)	(567,488,708)
(売買損益相当額)	(△1,755,883,052)
(F) 計(C+D+E)	△3,922,245,884
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△3,922,245,884
追加信託差損益金	△1,188,394,344
(配当等相当額)	(567,488,708)
(売買損益相当額)	(△1,755,883,052)
分配準備積立金	1,258,638,876
繰越損益金	△3,992,490,416

(注) 当ファンドの期首元本額は4,435,000,064円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円です。

(注) また、1口当たり純資産額は0.1156円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(217,947円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(567,488,708円)および分配準備積立金(1,258,420,929円)より分配対象収益は1,826,127,584円(10,000口当たり4,117円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するため要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、16円です。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

- ◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。
- ◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。
- ◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
 - 普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。
 - 元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの部分（特別分配金）は普通分配金となります。元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○お知らせ

約款変更について

2025年4月1日付

「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い記載の変更を行いました。

ロシア株式等（ロシア企業が発行する株式（ADR（米国預託証券）、GDR（グローバル預託証券）等を含みます）、以下同じ）の評価について

<財務諸表に計上した金額の算出方法及び財務諸表に計上した金額の算出に用いた主要な仮定>

2022年2月24日（現地時間）以降、ロシアのウクライナ侵攻を受けた米欧の経済制裁の対抗措置として、ロシア当局によるロシアの証券取引所での非居住者に対する取引制限等が実施されております。米国市場等の海外市場においてもロシア株式等の流動性が極めて低く取引することが困難な状態となっており、活発な市場における相場価格の取得ができない状況が続いております。よって、親投資信託が保有しているロシア株式等について、ゼロ円で評価しております。

<翌計算期間の財務諸表に与える影響>

当計算期間において、ロシア株式等を上記のように評価しております。しかしながら、ロシアの証券取引所の再開やロシア株式等の取引の再開等、今後の動向の変化によって翌計算期間の財務諸表に影響を与える可能性があります。

申込受付の停止について

2022年2月24日に発生したロシアのウクライナ侵攻の影響を受けて市場は閉鎖され、取引ができない状態となっております。そのため、3月1日より設定・解約の申込みの受付を停止しております。定時定額による購入（積立）についても3月9日以降受付を停止しております。

◆親投資信託「HSBC ロシア マザーファンド」の運用状況
第19期（2025年3月18日～2026年3月16日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主にロシアの株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主に、ロシア国内の企業、ロシア経済の発展と成長に関連する、ロシア以外の国の企業が発行する株式等（ADR、GDR等を含みます。）に投資します。
組入制限	株式への投資には制限を設けません。また、外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		MSCIロシア10/40指数 (円ベース)		株組入比率	株先物比率	純資産額
	期騰落	中率	(ベンチマーク)	期騰落			
	円	%			%	%	百万円
15期(2022年3月15日)	1,587	△88.2	0	△100.0	18.2	—	518
16期(2023年3月15日)	1,336	△15.8	—	—	8.8	—	389
17期(2024年3月15日)	1,316	△1.5	—	—	—	—	379
18期(2025年3月17日)	1,838	39.7	—	—	—	—	524
19期(2026年3月16日)	1,824	△0.8	—	—	—	—	515

(注) ベンチマークは設定日を10,000として指数化しております。以下同じ。

(注) 「株先物比率」は買建比率－売建比率。

*2022年5月31日までのベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、『MSCIロシア10/40指数（円ベース）』です。MSCIロシア10/40指数とは、ロシアの証券取引所に上場する企業を対象とした一般的な指数であるMSCIロシア指数に対し、投資信託に合わせた調整（一銘柄の構成比率の上限を10%にする、かつ5%を超える銘柄グループの合計の上限を40%にする等）を加えた浮動株調整後時価総額加重平均を算出した指数をいいます。なお、当該指数は、MSCI社（MSCI Inc.）が開発、計算する指数で、同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。当ファンドのベンチマークとしては、同指数を委託会社が円換算した数値を使用していました。2022年3月9日から、MSCI社により大幅な評価額の調整が行われた結果、ほぼ0評価となり、また同年5月6日から公表が停止されました。当ファンドは、6月1日付けでベンチマーク削除の約款変更を行いました。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		株 組 入 比	式 率	株 先 物 比	式 率
				騰 落	率				
	(期 首)		円		%		%		%
	2025年	3月17日	1,838		—		—		—
	3月末		1,838		0.0		—		—
	4月末		1,837		△0.1		—		—
	5月末		1,835		△0.2		—		—
	6月末		1,831		△0.4		—		—
	7月末		1,834		△0.2		—		—
	8月末		1,832		△0.3		—		—
	9月末		1,830		△0.4		—		—
	10月末		1,828		△0.5		—		—
	11月末		1,826		△0.7		—		—
	12月末		1,825		△0.7		—		—
	2026年	1月末	1,823		△0.8		—		—
	2月末		1,822		△0.9		—		—
	(期 末)								
	2026年	3月16日	1,824		△0.8		—		—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期の運用状況と今後の運用方針

前述の2～4ページをご覧ください。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年3月18日～2026年3月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 33 (33)	% 1.811 (1.811)	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	33	1.811	
期中の平均基準価額は、1,830円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2025年3月18日～2026年3月16日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ロシア	百株 — (948)	千ルーブル — (-)	百株 —	千ルーブル —

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分です。

○ 利害関係人との取引状況等

(2025年3月18日～2026年3月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年3月16日現在)

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(米国)	百株	百株	千米ドル	千円	
PJSC GAZPROM(ADR)	3,502	3,502	—	—	エネルギー
X 5 RETAIL GROUP NV-REGS GDR	343	343	—	—	生活必需品流通・小売り
NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S	83	83	—	—	エネルギー
NLMK PJSC-GDR REG S	421	421	—	—	素材
ROSNEFT OIL COMPANY PJSC-GDR	2,502	2,502	—	—	エネルギー
SEVERSTAL PAO (GDR)	639	639	—	—	素材
TCS GROUP HOLDING -REG S	259	259	—	—	銀行
PJSC MMC NORILSK NICKEL-ADR	485	485	—	—	素材
TATNEFT PAO-SPONSORED ADR	144	144	—	—	エネルギー
LUKOIL PJSC	412	412	—	—	エネルギー
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,794 10	8,794 10	— —	<-%>
(ロシア)			千ルーブル		
SBERBANK OF RUSSIA PJSC	6,026	6,026	—	—	銀行
PHOSAGRO PJSC	124	124	—	—	素材
POLYUS PJSC	105	1,053	—	—	素材
TATNEFT PJSC	1,632	1,632	—	—	エネルギー
MAGNIT PJSC	262	262	—	—	生活必需品流通・小売り
GAZPROM NEFT PJSC	2,051	2,051	—	—	エネルギー
ROSNEFT OIL CO PJSC	296	296	—	—	エネルギー
SURGUTNEFTEGAS PJSC	4,330	4,330	—	—	エネルギー
SURGUTNEFTEGAS PJSC(PFD)	9,847	9,847	—	—	エネルギー
ALROSA PJSC	4,159	4,159	—	—	素材
MOSCOW EXCHANGE MICEX-RTS PJ	2,657	2,657	—	—	金融サービス
SEGEZHA GROUP PJSC	73,085	73,085	—	—	素材
OZON HOLDINGS PLC - ADR	173	173	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り
UNITED CO RUSAL INTERNATIONA	8,702	8,702	—	—	素材
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	113,454 14	114,402 14	— —	<-%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	122,248 24	123,197 24	— —	<-%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 一印は組入れなし。

(注) 業種等は、世界産業分類基準 (G I C S[®]) に基づく業種名を採用しております。

○投資信託財産の構成

(2026年3月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 515,447	% 100.0
投資信託財産総額	515,447	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産(0.943千円)の投資信託財産総額(515,447千円)に対する比率は0.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=159.43円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年3月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	515,448,308
コール・ローン等	515,438,893
未収入金	943
未収利息	8,472
(B) 負債	943
未払金	943
(C) 純資産総額(A-B)	515,447,365
元本	2,825,163,547
次期繰越損益金	△2,309,716,182
(D) 受益権総口数	2,825,163,547口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,824円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

〈注記事項〉

※期首元本額 2,853,828,391円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 28,664,844円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額
 H S B C ロシア オープン 2,825,163,547円

○損益の状況 (2025年3月18日～2026年3月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	5,536,463
受取配当金	2,152,182
受取利息	2,111,475
その他収益金	1,272,806
(B) 有価証券売買損益	△ 1
売買損	△ 1
(C) 保管費用等	△ 9,386,547
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 3,850,085
(E) 前期繰越損益金	△2,329,274,421
(F) 解約差損益金	23,408,324
(G) 計(D+E+F)	△2,309,716,182
次期繰越損益金(G)	△2,309,716,182

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

約款変更について

2025年4月1日付

「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い記載の変更を行いました。

ロシア株式等（ロシア企業が発行する株式（ADR（米国預託証券）、GDR（グローバル預託証券）等を含みます）、以下同じ）の評価について

<財務諸表に計上した金額の算出方法及び財務諸表に計上した金額の算出に用いた主要な仮定>

2022年2月24日（現地時間）以降、ロシアのウクライナ侵攻を受けた米欧の経済制裁の対抗措置として、ロシア当局によるロシアの証券取引所での非居住者に対する取引制限等が実施されております。米国市場等の海外市場においてもロシア株式等の流動性が極めて低く取引することが困難な状態となっており、活発な市場における相場価格の取得ができない状況が続いております。よって、当ファンドが保有しているロシア株式等について、ゼロ円で評価しております。

<翌計算期間の財務諸表に与える影響>

当計算期間において、ロシア株式等を上記のように評価しております。しかしながら、ロシアの証券取引所の再開やロシア株式等の取引の再開等、今後の動向の変化によって翌計算期間の財務諸表に影響を与える可能性があります。